

これがオススメ10月募集開始の平成31年度助成金情報特集！

第26号

## まず「うつくしま基金」！10月16日伊達市で「県北地区説明会」 次に「子どもゆめ基金」！どちらも法人格なしで申込できます！

市民団体にとって10月は「来年度の助成金」申し込みの時期です。決して早過ぎません。オススメ第一は、県内市民団体対象の「うつくしま基金」。説明会が伊達市で開催されます。子ども分野で活動している団体には「子どもゆめ基金」がオススメ。どちらも法人格なしで申し込みます。その他の最新情報もあわせてお届けします。

### うつくしま基金は「スタートアップ支援」が狙い目。 「A4・4枚の書類審査だけ」今からの準備でOK。

過去、伊達市の個人や任意団体さらにNPO法人から多くの申請が出され採択されてきた助成金が「うつくしま基金」。今年も間もなく発表され10月16日には伊達市保原中央交流館で県北地区説明会が開催されます（右写真は昨年度の案内）。例年30万円～800万円までのコースがありますが、設立3年以内の市民団体におススメなのが「スタートアップ支援コース」。助成額は上限30万円ですが、事業費の10/10を助成してくれます。しかも「A4サイズ4枚の書類審査」だけです。じっくり書類作成すれば今からでもOKです。「支援センター」が応援しますから、気軽にご相談ください。もちろん3年以上活動している市民団体向けのコースもあります。過去にスタートアップ支援で採択されたことのある市民団体なら、なおさらチャンス！。こちらも応援いたします。

### 子どもの「体験活動」「読書活動」を計画なら、 「子どもゆめ基金」を外すことはできません！

「子どもゆめ基金」は平成30年度実績で全国の採択件数4472件、「採択率」は「体験活動68.9%」「読書活動68.8%」でした。申請した7割近くが採択されているのですから子ども関連の事業・活動を続ける市民団体なら、助成金候補の筆頭に挙げたいところ。

助成金は、全国規模から市町村規模まで「活動規模（エリア）」で標準額（目安）が決まっています。ちなみに伊達市内で「体験活動」「読書活動」を計画すると「50万円が目安」となりますが、謝金の額等に細かな規則があります。支援センターに詳しいスタッフがおりますから、ぜひご相談ください。第1次募集開始は10月1日です（チラシでは第2次募集5月1日開始とありますが、2次募集の様式は限定されていますのでご注意ください）。

公益信託うつくしま基金の募集・助成は、今回の第16回(平成30年度)と次回(平成31年度)で終了となる予定です。

◆募集期間(平成30年) ※助成金交付は、平成30年4月です  
**10月6日(金)▶11月6日(月)**

みなさんの公共生活を支援します

お断り  
この写真は  
昨年度の  
案内パンフです

スタートアップ支援コース **上限30万円**  
これから公益的事業を始めようとする団体、グループ及び個人の事業(社会性等の上昇を期待し、かつ1年以上継続し、3年以内の事業)のスタートを支援する助成コース。

定額支援コース **上限50万円**  
地域の活性化や、生活基盤の向上に資する公益的事業を行う場合に限り助成するコース。

定額事業支援コース **上限100万円**  
公益的団体の事業(30万円) ※実績によって上限500万円  
公益的団体の事業を補助しようとする団体、グループ及び個人の事業を支援するコース。

自治体との協働コース **上限800万円**  
地域住民による積極的な地域づくりに向けた活動を支援するため、地方自治体との協働プロジェクトにおける地域住民の事業に必要経費を助成するコース。

申請書の提出先  
【奉命申請】  
東邦銀行 法人営業部  
公益信託うつくしま基金事務局  
〒960-8633 福島市大町3-25 tel.024-523-3131

申請書作成などのご相談は  
【サポート機関】  
特定非営利活動法人  
うつくしまNPOネットワーク 〒963-8835 郡山市小原田2丁目19-19  
TEL.024-953-6092 FAX.024-953-6093

uketsuke@utsukushima-npo.jp http://www.utsukushima-npo.jp/

子どもゆめ基金

子どもの体験活動・読書活動への助成を行っています

子どもゆめ基金

2018年 10月1日～11月13日(要申込) 11月27日(要申込)

2019年 5月1日～6月4日(要申込) 6月18日(要申込)

子どもゆめ基金

子どもゆめ基金事務局

〒960-8835 郡山市小原田2丁目19-19 TEL.0120-579081

子どもゆめ基金助成団体

子どもゆめ基金

・助成対象は大きく「体験活動」と「読書活動」に別れています。このうち「読書活動」は「読み聞かせ会」「おはなし会」「読書会」「ブックトーク」と具体例もすぐ思い浮かびます。

・一方「体験活動」は6つの分野に細かく分かれています。①「自然体験」②「科学体験」③「交流を目的とする」④「社会奉仕体験」⑤「職場体験」⑥「総合・その他の体験」の6つで、募集要項は実に「細かな具体例」を例示してくれています。

・例えば「交流を目的とする」分野では「大人たちとの学び合いの交流」として「和紙づくり」「染物」「竹細工」「焼き物」「踊り」「太鼓」「子守唄」「わらじ作り」「郷土料理」等、16の具体例が例示されていますので、ぜひ募集要項を参考にすることをオススメします。



# 「県北地域限定の助成金もあり」、10月26日まで募集中です！ 他にも、探せば、自分たちにふさわしい助成金も見つかります！

## 県北で住民主体の地域活動を行う団体に、 「のっぽ基金助成金」1団体あたり上限100万円。

「認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター」が、ことしも「のっぽ基金助成金」(写真右のチラシ)の募集を開始しました。

「福島県県北地域」で活動する市民団体の「新たに取り組む事業」が対象で、助成の上限が1団体100万円。応募があった中から2つの事業への助成を予定しているとのこと。

助成分野は「NPO法に掲げる活動分野」となっていますから、現在市民活動を継続している団体はおおむね該当団体になりますが、詳細は「募集要項」を取り寄せて確認してください。なお募集要項・申込書はふくしまNPOネットワークセンターHPからダウンロードできます。

## 地域を元気にするボランティア活動を応援！ 「キリン・地域のちから応援事業」

「公益財団法人 キリン福祉財団」が「キリン・地域のちから応援事業」として全国に公募を呼びかけている助成事業です。右のHPの画面でもわかる通り「福祉向上で地域を元気にする活動を応援」しようというもので「助成対象となる事業」を大きく「5つの分野」に分けています。①子ども・子育て世代の福祉向上に関わるもの②シルバー世代の福祉向上に関わるもの③障害や困りごとのある人・支える人の福祉向上に関わるもの④地域やコミュニティの活性化に関わるもの、の5つです。助成対象事業の実施期間は平成31年4月1日から平成32年3月末日、助成金額は1団体30万円が上限で総額4,700万円と発表しています。

選考基準は①地域やコミュニティの活性化②活動の波及性③活動の発展性④事業目標・計画の明確さ、の4つ。キリン福祉財団のHPから申込書類をダウンロードして必要事項を記入し10月31日までに郵送で申し込んでください。



●「のっぽ基金助成金」の案内パンフレットです。すでに募集を開始しています●応募書類として「助成金申請書」(HPからダウンロード)の他に「定款または規約」「役員名簿」「前年度決算書」等が必要●助成対象期間は2018年12月3日から2019年12月31日までに実施する事業●選考基準が次の5項目。これを項目ごとに採点し合計点の高い事業を選考するとしています。①実行可能性②社会性③先進性④継続性・波及効果⑤経費の妥当性

## 「キリン・地域のちから応援事業」への申込書は 「公益財団法人 キリン福祉財団」HP (下画像) から ダウンロードしてください!



## 「各種助成金」の詳細は「月曜～土曜」にお気軽に「支援センター」にお尋ねください。

今号で取り上げた「うつくしま基金」「子どもゆめ基金」「のっぽ基金」「キリン・地域のちから応援事業」についてはもちろん、問い合わせくだされば支援センターとして、個別に説明・相談をさせていただきます。あわせて、ここに紹介しきれないさまざまな「助成金情報」も連日届いていますから、ぜひ「自分たちの活動にふさわしい助成金はないか」と、お気軽にお問い合わせください。申請方法までサポートいたします。

伊達市市民活動支援センター  
 電話番号：024-583-2800 FAX：024-583-2820  
 ○開館：毎週・月～土曜(日曜休館)  
 午前9時～午後6時  
 伊達ふれあいセンター3階まで

